



笠間市 地域包括支援センター

KASAMA

包括ケア会議だより



こんにちは。笠間市地域包括支援センターです。

令和6年度のケア会議がスタートしました。今年度も地域の専門職の方々と一緒に考え、支援に向けて取り組んでいきたいと思えます。

さて、5月の包括ケア会議は個別検討会議となり、「生活が困窮している世帯の支援」について話し合いました。本人に関わる介護支援専門員、通所介護事業所、福祉用具関係者等が参加しました。

★通所介護や福祉用具貸与の支払いが滞り、サービスの継続が難しいケースについて検討

家族の就労が安定せず、日々の食糧にも困っている状況があり、通所介護や福祉用具貸与料金の支払いができずに事業所が対応に苦慮しています。本人はその状況を知りません。病院への定期通院は継続されています。

それぞれの関係者から情報共有いただくなかでケースを深く知ることができ、家族の就労が安定しないことに加え、金銭管理の状況が不明瞭であること、家族間で情報共有ができていないこと等新たな課題が見えてきました。

今後、サービス料金の支払いについては各事業所で期限を設けることで、家族として問題に向き合い、話し合う機会をつくる方向性を見出すこと、困窮が解決しない場合は他制度の利用が必要であることについて共通理解を図りました。

本人・家族が主体でありながら、必要時は情報やサービスが提供できるような普段からの体制づくりや関係機関との密な連携の重要性を改めて学ぶ機会となりました。また、支援者が抱えこまずに皆で考えることの大切さを再確認できました。

＊ ＊ 3月の検討事例の経過報告 ＊ ＊

★「思い込みが強く、周囲を困惑させる独居高齢者のケース」

関係機関との検討の結果、ケースの新たな一面やこれまで知り得なかった情報を共有することができました。現在は介護サービスを利用せずに地域で生活することができていますが、今後も見守りながら必要に応じて再度検討していきたいと思えます。

検討事例募集中

困難事例でお悩みでしたら、一緒に事例検討しませんか？
下記までご連絡よろしくお願ひいたします。



連絡先 笠間市地域包括支援センター TEL 0296-78-5871